



2022年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2022年5月10日
荏原実業株式会社



2022年12月期 第1四半期 サマリー

市場環境

- － 公共分野では、上下水道設備の更新需要、防災・減災需要が堅調
- － 原材料の納期遅延等により工事進捗の遅れが発生し、発注時期の延期等が発生
- － 民間分野では、設備投資が依然として厳しいものの、回復の兆しもみられる
- － 感染症対策製品の需要は、補助金範囲の縮小により減少

2022年12月期 第1四半期決算のポイント

- － 公共分野では、原材料の納期遅延等により発注時期が不安定となりエンジニアリング事業の受注高減少
- － 感染症対策製品の減少と原材料の納期遅延等による工事進捗遅れにより売上高減少
- － 前期末受注残高の持ち越しと売上計上遅れにより受注残高は増加

2022年12月期事業計画 ⇒ 変更なし

- － メーカー事業の売上高落ち込みの主要因は感染症対策製品の減少であり、想定範囲内
- － エンジニアリング事業の受注高が落ち込むものの、公共案件の発注は第3四半期以降に本格化
- － 受注残高は、全てのセグメントで前年同期を上回り、第2四半期以降に売上計上
- － 原材料の納期遅延や価格の高騰が継続する場合、売上計上時期、売上総利益率への影響が想定されるが、現時点では通期事業計画への影響は軽微

2022年12月期 第1四半期 決算報告

売上高

117.5 億円 (20.2%↓)

受注高

67.9 億円 (19.3%↓)

営業利益

23.3 億円 (34.1%↓)

受注残高

198.8 億円 (21.0%↑)

四半期純利益

17.3 億円 (36.0%↓)

(単位：百万円)	2020/12 1Q		2021/12 1Q		2022/12 1Q		前年同期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	11,544	100.0	14,725	100.0	11,754	100.0	△ 20.2	△ 2,970
売上総利益	3,443	29.8	5,047	34.3	3,948	33.6	△ 21.8	△ 1,099
販管費	1,406	12.2	1,503	10.2	1,613	13.7	+ 7.3	+ 110
営業利益	2,036	17.6	3,544	24.1	2,334	19.9	△ 34.1	△ 1,210
経常利益	2,068	17.9	3,576	24.3	2,372	20.2	△ 33.7	△ 1,204
四半期純利益	1,400	12.1	2,707	18.4	1,733	14.8	△ 36.0	△ 974
受注高	6,442	-	8,425	-	6,799	-	△ 19.3	△ 1,626
受注残高	13,876	-	16,428	-	19,881	-	+ 21.0	+ 3,452

2022年12月期 第1四半期 決算のポイント

市場環境

- 公共分野では、上下水道設備の更新需要、防災・減災需要が堅調に推移するものの、原材料の納期遅延等により工事進捗に遅れが発生し、発注時期が不安定
- 民間分野では、設備投資が依然として厳しいものの、回復の兆しもみられる
- 感染症対策製品の需要は、補助金範囲の縮小により減少

売上高

前年同期比

△**29.7**億円 (20.2%↓)

- 原材料等の納期遅延により工事進捗に遅れが発生
- 民間設備投資は依然として厳しい
- 感染症対策製品が大きく減少

受注高

前年同期比

△**16.3**億円 (19.3%↓)

- メーカー事業、商社事業では受注高は増加しているものの、エンジニアリング事業が大きく減少
- エンジニアリング事業では、原材料の納期遅延等によって発注時期が不安定

売上総利益

前年同期比

△**10.9**億円 (21.8%↓)

- メーカー事業の売上高減少により売上総利益率は若干低下 (34.3%⇒33.6%)

受注残高

前年同期比

+34.5億円 (21.0%↑)

- 受注高は減少しているものの、前期末受注残高からの持ち越しと、原材料等の納期遅延による売上計上遅れにより受注残高は増加
- 全てのセグメントで前年同期を上回る

営業利益

前年同期比

△**12.1**億円 (34.1%↓)

- 売上総利益の減少に加え人件費、研究開発費、減価償却費等の増加による販管費の増加

2022年12月期 第1四半期 セグメント別決算推移

(単位：百万円)			2020/12 1Q	2021/12 1Q	2022/12 1Q	前年同期比	
						増減率(%)	増減額
 メーカー事業 (環境関連)	受注高	1,734	1,541	1,745	+ 13.2	+ 203	
	売上高	1,811	4,365	2,034	△ 53.4	△ 2,331	
	売上総利益	701	1,900	893	△ 53.0	△ 1,007	
 エンジニアリング事業 (水処理関連)	受注高	2,475	4,261	2,079	△ 51.2	△ 2,182	
	売上高	6,488	7,419	6,949	△ 6.3	△ 470	
	売上総利益	1,970	2,358	2,294	△ 2.7	△ 64	
 商社事業 (風水力関連)	受注高	2,232	2,621	2,975	+ 13.5	+ 354	
	売上高	3,244	2,939	2,770	△ 5.7	△ 169	
	売上総利益	770	788	761	△ 3.4	△ 27	



セグメント別 状況報告

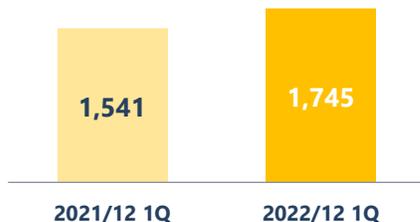


メーカー事業 (環境関連)

受注高

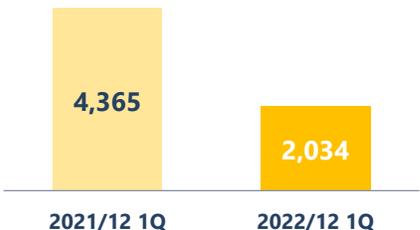
(単位：百万円)

+2.0億円
(+13.2%)



売上高

△23.3億円
(△53.4%)



売上総利益

売上総利益率

△10.1億円
(△53.0%)



受注高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 半導体向け需要が増加	+ 240
省エネ・創エネ	● コロナ禍で部材の調達に制限、販売体制の構築も遅れる	△ 27
脱臭	● 脱臭剤の更新需要は安定的に推移	+ 16
水処理プラント	● 水産関連需要が増加	+ 138
医療	● 感染症対策製品に対する補助金範囲縮小	△ 164

売上高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 半導体向け需要が増加しているが、売上計上は2Q以降へ	+ 14
省エネ・創エネ	● コロナ禍で部材の調達に制限、販売体制の構築も遅れる	+ 15
脱臭	● 脱臭剤の更新需要は安定的に推移	△ 47
水処理プラント	● 食品、化学工場向け排水プラントが減少	△ 422
医療	● 感染症対策製品に対する補助金範囲縮小	△ 1,891

売上総利益

- 売上高減少に伴い売上総利益も減少
- 売上総利益率は前年同期並み

セグメント別 状況報告



エンジニアリング事業 (水処理関連)

受注高

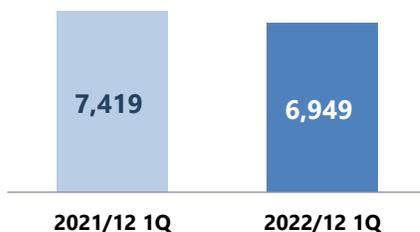
△**21.8**億円
(△51.2%)



- 市場環境は堅調に推移しているものの、原材料の納期遅延等によって発注時期が不安定

売上高

△**4.7**億円
(△6.3%)



- 原材料の納期遅延等による工事進捗の遅れもあり若干減少

売上総利益

△**0.6**億円
(△2.7%)



- 売上利益率は上昇



商社事業 (風水力関連)

受注高

+**3.5**億円
(+13.5%)



- 納期の長期化を見据え、発注時期前倒しの動きあり

売上高

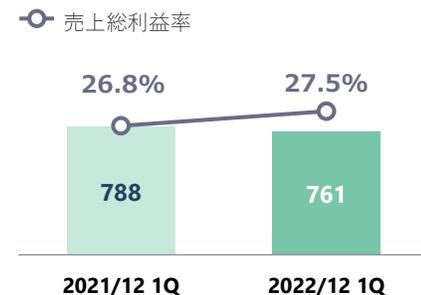
△**1.7**億円
(△5.7%)



- 民間設備投資には依然とし停滞感がみられる

売上総利益

△**0.3**億円
(△3.4%)



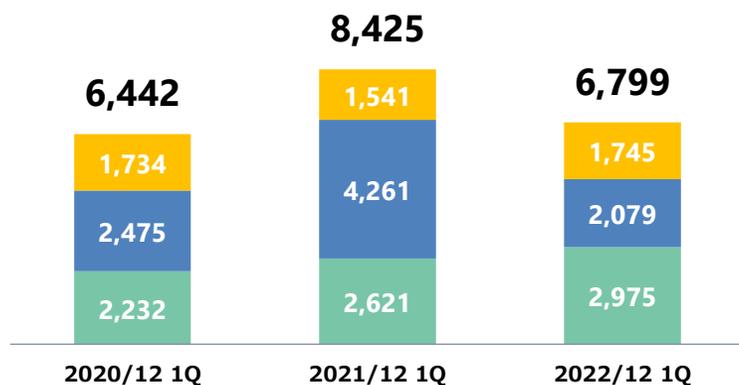
- 売上総利益率の向上を図り、売上高減少の影響を最小限に留める

受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移

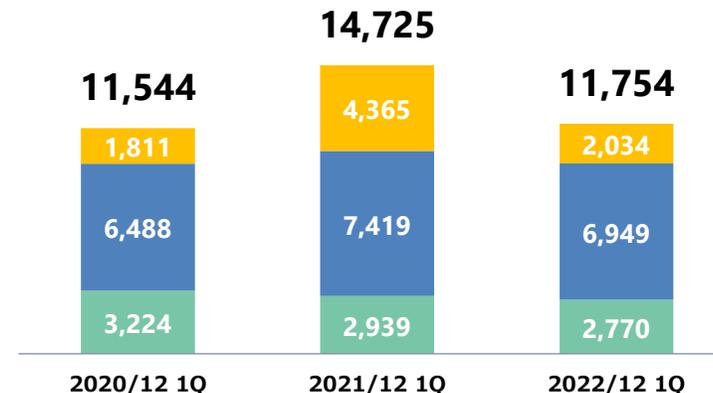
■ メーカー ■ エンジニアリング ■ 商社

(単位：百万円)

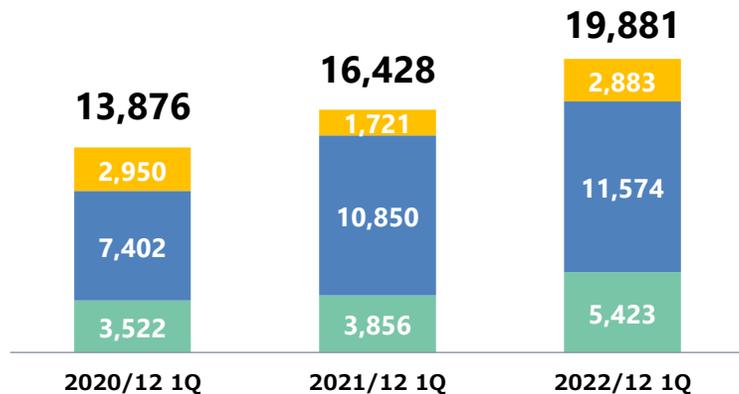
受注高の推移



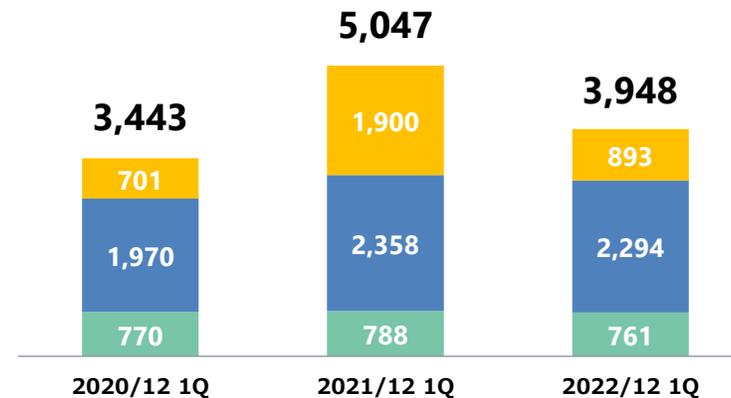
売上高の推移



受注残高の推移



売上総利益の推移



2022年12月期の見通し ⇒ 事業計画に変更なし

事業計画に向けて第1四半期の状況

- メーカー事業の売上高落ち込みの主要因は感染症対策製品の減少であり、想定範囲内
- エンジニアリング事業の受注高が落ち込むものの、公共案件の発注は第3四半期以降に本格化
- 受注残高は、全てのセグメントで前年同期を上回り、第2四半期以降に売上計上
- 原材料の納期遅延や価格の高騰が継続する場合、売上計上時期のずれ、売上総利益率の低下が想定されるが、現時点では通期事業計画への影響は軽微

第2四半期以降のセグメント別見通し



メーカー事業

(環境関連)

- 計測分野では半導体関連需要が堅調に推移
- 省エネ・創エネ分野は、コロナ禍で部材の調達に制限が生じ、販売体制の構築にも遅れが発生しているが、経済活動の回復に伴い改善する見込み
- 水産関連では民間設備投資が増加傾向
- 感染症対策製品の落ち込みは想定内で、ほぼ計画通りの進捗
- 受注残高は前年同期比67.5%増



エンジニアリング事業

(水処理関連)

- 上下水道設備の更新案件、防災・減災案件は堅調に推移する見込み
- 第1四半期では、原材料の納期遅延等により工事進捗が遅れ、他案件の発注時期に影響が出ているが、公共案件の発注が本格化する第3四半期までには、状況は改善すると見込む
- 売上総利益率は計画通りに推移



商社事業

(風水力関連)

- 民間設備投資は依然として厳しいものの、回復の兆しがみられる
- 受注残高は前年同期比40.6%増

2022年12月期 事業計画

※2022年2月10日公表から変更なし

増収減益

- メーカー事業では蓄電池等の省エネ・創エネ分野で需要増加を見込むものの、医療分野の需要は減少
- エンジニアリング事業は上下水道設備の更新需要、防災・減災需要が引き続き堅調に推移
- 商社事業は民間設備投資の緩やかな回復を見込む

(単位：百万円)	2020/12月期 実績		2021/12月期 実績		2022/12月期 計画		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
受注高	34,000	-	35,014	-	36,000	-	+2.8	+986
売上高	30,250	100.0	32,485	100.0	35,000	100.0	+ 7.7	+ 2,515
売上総利益	9,010	29.8	10,489	32.3	10,400	29.7	△ 0.8	△ 89
販管費	5,795	19.2	6,507	20.0	6,600	18.9	+ 1.4	+ 93
営業利益	3,214	10.6	3,982	12.3	3,800	10.9	△ 4.6	△ 182
経常利益	3,363	11.1	4,110	12.7	3,950	11.3	△ 3.9	△ 160
当期純利益	2,342	7.7	3,159	9.7	2,800	8.0	△ 11.4	△ 359
1株当たり配当金	55円	-	85円	-	85円	-	-	-

※1株当たり配当金については、2021年7月1日付で1:2の株式分割を実施、遡及修正を行った数値を掲載しています。

セグメント別業績推移（第1四半期）

	(単位：百万円)	2018/12 1Q		2019/12 1Q		2020/12 1Q		2021/12 1Q		2022/12 1Q	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
受注高	計測	256	△16.1%	408	+59.4%	313	△23.3%	274	△12.5%	514	+87.6%
	省エネ・創エネ	47	△81.4%	110	+134.0%	170	+54.5%	117	△31.2%	90	△23.1%
	脱臭	286	+19.7%	114	△60.1%	124	+8.8%	234	+88.7%	250	+6.8%
	水処理プラント	397	△66.3%	319	△19.6%	779	+144.2%	269	△65.5%	407	+51.3%
	医療	105	△30.5%	49	△53.3%	348	+610.2%	648	+86.2%	484	△25.3%
	メーカー（環境関連）	1,091	△48.7%	999	△8.4%	1,734	+73.5%	1,541	△11.1%	1,745	+13.2%
	エンジニアリング（水処理関連）	1,324	△43.5%	1,388	+4.9%	2,475	+78.3%	4,261	+72.1%	2,079	△51.2%
	商社（風水力関連）	2,297	△13.1%	2,219	△3.4%	2,232	+0.6%	2,621	+17.5%	2,975	+13.5%
	連結合計	4,713	△33.8%	4,607	△2.2%	6,442	+39.8%	8,425	+30.8%	6,799	△19.3%
売上高	計測	478	+23.8%	334	△30.1%	294	△12.0%	441	+50.0%	455	+3.2%
	省エネ・創エネ	131	+11.0%	219	+67.2%	230	+5.0%	109	△52.6%	124	+13.8%
	脱臭	373	+3.0%	577	+54.7%	454	△21.3%	555	+22.2%	508	△8.5%
	水処理プラント	673	+15.8%	551	△18.1%	715	+29.8%	962	+34.5%	540	△43.9%
	医療	61	△28.2%	57	△6.6%	117	+105.3%	2,298	+1864.1%	407	△82.3%
	メーカー（環境関連）	1,716	+12.0%	1,738	+1.3%	1,811	+4.2%	4,365	+141.1%	2,034	△53.4%
	エンジニアリング（水処理関連）	6,437	+12.9%	6,291	△2.3%	6,488	+3.1%	7,419	+14.3%	6,949	△6.3%
	商社（風水力関連）	2,714	△17.4%	3,307	+21.8%	3,244	△1.9%	2,939	△9.4%	2,770	△5.7%
	連結合計	10,869	+3.3%	11,337	+4.3%	11,544	+1.8%	14,725	+27.6%	11,754	△20.2%
売上総利益	メーカー（環境関連）	795	+15.7%	671	△15.6%	701	+4.5%	1,900	+171.0%	893	△53.0%
	エンジニアリング（水処理関連）	1,792	+5.2%	1,728	△3.6%	1,970	+14.0%	2,358	+19.7%	2,294	△2.7%
	商社（風水力関連）	550	△24.6%	730	+32.7%	770	+5.5%	788	+2.3%	761	△3.4%
連結合計	3,138	+0.5%	3,129	△0.3%	3,443	+10.0%	5,047	+46.6%	3,948	△21.8%	
販管費	1,325	△2.1%	1,302	△1.7%	1,406	+8.0%	1,503	+6.9%	1,613	+7.3%	
営業利益	1,813	+2.5%	1,827	+0.8%	2,036	+11.4%	3,544	+74.1%	2,334	△34.1%	
営業外収益	31		36		46		53		55		
営業外費用	28		12		15		21		18		
経常利益	1,815	+2.0%	1,850	+1.9%	2,068	+11.8%	3,576	+72.9%	2,372	△33.7%	
特別利益	-		-		-		338		140		
特別損失	-		-		25		26		11		
税引前利益	1,815	+2.0%	1,850	+1.9%	2,042	+10.4%	3,887	+90.4%	2,501	△35.7%	
当期純利益	1,265	+1.4%	1,280	+1.2%	1,400	+9.4%	2,707	+93.4%	1,733	△36.0%	



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。